



最新情報は、HPをご覧ください

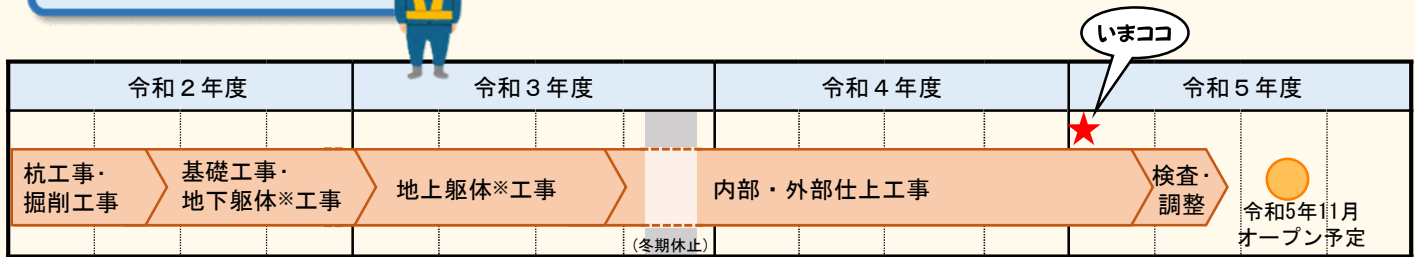
発行・編集 旭川市庁舎建設課
公共建築課
tel:25-7597

choshakensetsu@city.asahikawa.lg.jp

旭川市役所は、令和5年11月に新庁舎へと生まれ変わります

市民の皆さんの暮らしを支える新しい庁舎の建設工事に関する情報を「新庁舎建設NEWS」として皆さんにお伝えしていきます。

工事の進捗



※ 躯体(くたい)とは、柱、壁、梁、床など建物を支える骨組みのことです。

3月



外部は、低層階の屋上防水や建物周囲の通路天井の仕上工事も終わり、足場やシートが外れました。

内部は、引き続き壁・天井の仕上げを進め、一番進んでいる3階は、床・壁・天井も出来上がり、そろそろ水まわり器具や照明など設備機器の取付けが始まります。

工事用エレベーターを撤去するまで工事ができなかった南側エレベーター3基の設置工事も始まっています。

5月には議場に設置する旭川家具の机の取付けを、6月からは建物周辺の外構工事も始まる予定で、現場は8月の完成に向け順調に進んでいます。



9階展望フロアからの景色です。ここから見える大雪山の山々の情報をガラス面に表示します。



3階での案内表示の検討の様子です。壁・天井が仕上がったところに実物大に印刷した紙を貼り、大きさや見え方を確認してから製作します。

緑橋通側、建物近くから撮影したものです。低層部を囲っていた足場がなくなり、文化会館入口そばの見学窓からも見ることができます。

工事現場日記

令和5年3月9日（木）



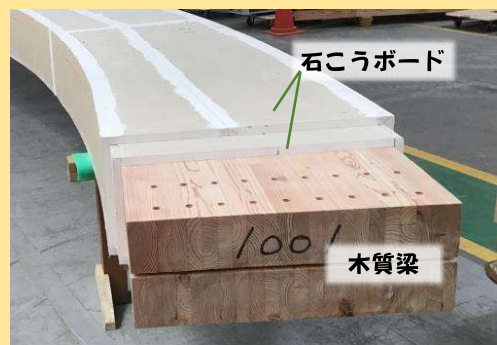
新庁舎南側の通路です。ここは、ひさしを取り付け、車の乗り降りができるスペースになりますが、工事は、現在の総合庁舎を解体した後、駐車場整備（R7年度実施予定）と合わせて行う予定です。

令和5年3月14日（火）



9階の空調機械室には、たくさんの配管が整然と並んでいます。この機械室で夏は冷水、冬は温水を作り、この管を通して各階の空調機に送られ、冷房や暖房に使用します。

特集 新庁舎で使う市有林材 ～その2～



議場の屋根を支える木質梁は、火熱に強い厚さ21mmの石こうボード2枚で覆っています。これにより、もし火災になったとしても消火するまでの間、燃えずに強度を保つことができます。



庁舎の壁や天井の仕上材として使う木材は、火災になったときに避難が終わるまでの一定時間、燃え広がらず、煙やガスを発生させない処理が必要です。木材を写真の左側にある緑色の大きな釜に入れ、薬剤を圧力をかけながら注入し、燃えにくい材料にする不燃処理をしています。

こんな場所に使ってます

建物周囲の通路天井



1,2階天井（梁側面）

議場天井



議場壁

